

◆人口ビジョン ※2060（H72）年を視野

【基本的な考え方】

持続可能で自立したまちであり続けるための「人口」を維持する。

【人口の現状分析】

①現状と推移

- ・ 岩沼市人口 44,144人（2015（H27）年4月30日時点）となっている。
（年少人口14.6%、生産年齢人口62.5%、老年人口22.9%）
- ・ 2010（H22）年までは人口増加傾向が続いていたが、減少傾向を示している。

②自然増減

- ・ 1989（H1）年以降の推移を見ると、自然増が続いていたが、2008（H20）年以降、出生数が減少傾向となり、2014（H26）年の出生数と死亡数はほぼ同数となっている。

③社会増減

- ・ 1989（H1）年以降の推移を見ると、2007（H19）年までは概ね転入超過で推移したが、2008（H20）年から2012（H24）年までは転出超過となり、2013（H25）年以降は再び転入超過に転じている。

④東日本大震災前との比較

- ・ 2011（H23）年2月末時点の人口（44,254人）と比較すると、2013（H25）年3月末時点で657人が減少していたが、2015（H27）年4月末時点では140人の減少となっている。

【将来の目標人口（例）】

◎ケース1

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所推計準拠した場合
◇2040（H52）年 39,177人
◇2060（H72）年 32,346人

◎ケース2

- ・ 合計特殊出生率が2020年（H32）以降1.62に達し、30代の移動減少対策を講じた場合
◇2040（H52）年 40,043人
◇2060（H72）年 33,957人

◎ケース3

- ・ 合計特殊出生率が2030（H42）年に1.8（国民希望出生率）に達し、2040（H52）年に2.07（人口置換水準）に達する場合（国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率で仮定）
◇2040（H52）年 40,742人
◇2060（H72）年 36,215人


（参考）合計特殊出生率：全国1.43 宮城県1.34 岩沼市1.43

資料：厚生労働省「平成25年（2013）人口動態統計」

資料：厚生労働省「H20～H24年人口動態調査 保健所・市区町村別統計」

※今後、政府が6月に取りまとめる「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」等を踏まえ、市民と共に岩沼市版地方創生総合戦略の策定を進める予定である。

◆いわぬま未来構想 ※2014（H26）～2023（H35）年度

 **があふれる“健幸”先進都市 いわぬま**

- 安全・安心で快適な「まち」づくり
- 健康で長生き、地域で子育てできる「環境」づくり
- 人が集まる「産業」づくり
- 生涯現役で心豊かな「人」づくり

◆総合戦略 ※2015（H27）～2019（H31）年度

【地方創生のための基本理念】

地方創生は、いわぬま未来構想を具現化するためのリーディングプロジェクトと位置付け、自助、互助・共助、公助と協働・連携を基本理念として、人口ビジョンを踏まえて市民と共に時代に応じたまち・ひと・しごとづくりに取り組んでいきます。

【基本目標】

安定した雇用を創出し維持する

～岩沼で仕事をしよう！～

地域産業の活性化を図ることにより、雇用の創出と維持に努め、働きやすい地域づくりに取り組んでいきます。

新しいひとの流れをつくる

～魅力を伝えよう！岩沼で暮らそう！～

地域の魅力を交流人口の拡大につなげ、定住者の確保等を行うことによって、「住んでみたい」「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組んでいきます。

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

～岩沼で家族になろう！～

地域の中で安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備するとともに、特色のある教育環境の充実に取り組んでいきます。

共創のまちをつくるとともに、地域と地域を連携する

～岩沼でつながろう！～

行政、住民、各種団体、企業のそれぞれが役割を果たし、地域コミュニティを活かして“共に創る”まちづくりとともに、地域間連携に取り組んでいきます。また、高齢者や障害者が生きがいを持ち活躍できる地域社会づくりに取り組んでいきます。